



CHAPTER 17

Cisco Unified Presence の管理ページでの スタティック ルートの設定

- 「スタティック ルートの設定」 (P.17-1)
- 「スタティック ルートの検索」 (P.17-4)
- 「スタティック ルートの削除」 (P.17-5)

スタティック ルートの設定

SIP プロキシ サーバ トラフィック用のスタティック ルートを設定します。ダイナミック ルートは、ルーティング プロトコルとルーティング更新メッセージに従って自動的に計算されるネットワーク経由のパスを表します。スタティック ルートは、明示的に設定するネットワーク経由の固定パスを表します。

スタティック ルートは、ダイナミック ルートよりも優先されます。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
スタティック ルートを追加する	<p>a. [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [スタティック ルート (Static Routes)] の順に選択します。</p> <p>b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</p>
サーバを更新する	<p>a. 「スタティック ルートの検索」 (P.17-4) の説明に従ってレコードを検索します。</p> <p>b. 必要に応じてレコードを編集します。</p>

ステップ 2 表 17-1 の説明に従ってスタティック ルートの設定値を入力します。

表 17-1 スタティック ルートの設定値

フィールド	説明
宛先パターン (Destination Pattern)	<p>着信番号のパターンを 255 文字以内で指定します。</p> <p>(注) SIP プロキシでは、100 本のスタティック ルートにだけ同じルートパターンを割り当てることができます。この制限を超えると、Cisco Unified Presence のログにエラーが記録されます。</p> <p>ドット (.) は任意の 1 文字を表すワイルドカードとして使用し、アスタリスク (*) は任意の複数の文字を表すワイルドカードとして使用できます。</p> <p>ダッシュやハイフン (-) もパターン内の任意の場所で使用できます。</p> <p>ワイルドカードの使用方法</p> <p>電話機の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ドットはパターン内の任意の場所に使用できます。 アスタリスクは末尾だけに使用できます。 <p>IP アドレスおよびホスト名の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> アスタリスクはホスト名の一部として使用できます。 ドットはホスト名のリテラル値の役割を果たします。 <p>エスケープ文字とアスタリスクの連続 (*) はリテラル * と一致し、任意の場所で使用できます。</p>
説明 (Description)	特定のスタティック ルートの説明を 255 文字以内で指定します。
ネクスト ホップ (Next Hop)	<p>着信先 (ネクスト ホップ) のドメイン名または IP アドレスを指定し、完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはドット付き IP アドレスのいずれかにすることができます。</p> <p>(注) Cisco Unified Presence では、DNS SRV ベースのコールルーティングがサポートされています。DNS SRV をスタティック ルート用のネクスト ホップとして指定する場合は、このパラメータを該当する DNS SRV の名前に設定します。</p>
ネクスト ホップ ポート (Next Hop Port)	<p>着信先 (ネクスト ホップ) のポート番号を指定します。</p> <p>デフォルト : 5060</p> <p>(注) Cisco Unified Presence では、DNS SRV ベースのコールルーティングがサポートされています。DNS SRV をスタティック ルート用のネクスト ホップとして指定する場合は、このパラメータを 0 に設定します。</p>
ルート タイプ (Route Type)	<p>ルートタイプを指定します ([ユーザ (User)] または [ドメイン (Domain)])。</p> <p>デフォルト設定 : ユーザ (User)</p>
プロトコル タイプ (Protocol Type)	<p>このルートのプロトコルタイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。</p> <p>デフォルト設定 : TCP</p>

表 17-1 スタティック ルートの設定値 (続き)

フィールド	説明
プライオリティ (Priority)	このルートのプライオリティ レベルを指定します。値が小さいほど、プライオリティが高くなります。 値の範囲：1 ～ 65535 デフォルト設定：1
重み付け (Weight)	ルートの重み付けを指定します。このパラメータは、複数のルートのプライオリティが同じ場合に限り使用します。値が大きいほど、ルートのプライオリティが高くなります。 値の範囲：1 ～ 65535 例：次のプライオリティと重み付けが関連付けられた 3 本のルートがあるとします。 <ul style="list-style-type: none"> • 1、20 • 1、10 • 2、50 この例では、スタティック ルートが正確な順序で示されています。プライオリティ パラメータに基づくと、プライオリティ値が最も小さい (この例では 1) ルートが最優先ルートになります。2 本のルートに同じプライオリティが割り当てられているため、重み付けパラメータに基づいて重み付け値が最も大きいルートが最優先ルートになります (この例では 1、20)。
固有性の低いルートを許可 (Allow Less-Specific Route)	固有性の低いルートを許可することを示します。 デフォルト設定：オン
イン サービス (In Service)	ルートをアウト オブ サービスにするかどうかを指定します。 (注) このパラメータを使用すると、管理者は効率的にルートをアウト オブ サービスにすることができます (完全に削除してから再度追加する必要がありません)。
[ルートのブロック (Block Route)] チェックボックス	オンにすると、該当するルートがブロックされます。 デフォルト値：オフ

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

スタティック ルートの検索

ネットワークに複数のスタティック ルートが存在する場合がありますため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のスタティック ルートを検索できます。

手順

- ステップ 1** [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [スタティック ルート (Static Routes)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#) に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコード リストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

スタティック ルートの削除

手順

- ステップ 1** スタティック ルートを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するスタティック ルートを選択します。
- ステップ 3** スタティック ルートを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

スタティック ルートが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

「スタティック ルートの検索」 (P.17-4)

